

1. 文章は新仮名遣いを用い、句読点は全角とする。外国語は活字体を使用し、記号・英数字は半角とする。外来語は全角カタカナを用いる。
2. 人名・地名などは原則として原語を用いる。
3. 章節のはじめは、I II III・・・123・・・1) 2) 3)・・・(1) (2) (3)・・・①②③・・・の順とする。図表の中の数字はアラビア数字を用いる。
4. 図表は原則として原寸大でそのまま印刷に用いるため、明瞭なものにする。図表は1枚ずつ別々の用紙に記載し、本文とは別に一括し添付する。写真・図・表は、刷り上がり1ページあたり2,000字に相当する。また、挿入位置は本文中の右欄外にそれぞれ朱書きする。
5. 文献は原則として原典からの引用とし、American Psychological Association ; APA方式に沿って、本文中に引用した文献のみを掲載する。
 - 1) 本文中の引用は以下のように記載する。
 - (1) 出典の著者を本文の他の文に使用する場合は、著者名の直後に半角カッコで括った出版年を表示する。
＜例＞藤原 (2015) は、看護系大学における救急看護の講義内容で最も多かったのは、危機状況にある患者および家族への看護と一次救命処置・二次救命処置 (96.7%) であったと報告している。
 - (2) 本文中で引用文のみを述べる場合は、半角カッコ内に著者名と出版年を半角カンマで区切って表示する。
＜例＞看護系大学における救急看護の講義内容で最も多かったのは、危機状況にある患者および家族への看護と一次救命処置・二次救命処置 (96.7%) であったと報告されている (藤原, 2015)
 - (3) 同性の著者がいた場合、著者名はフルネームで記載する。
 - (4) 同一著者のある年に発刊された論文を複数引用する場合は、(藤原, 2015a) のように、年号のあとにアルファベットの小文字を付記する。
 - (5) 2名の共著の場合は、(藤原, 佐々木, 2015) または、藤原、佐々木 (2015) のように、すべての引用箇所にも2名の著者名を表記する。
 - (6) 3～5名の共著の場合は、初出のときは(藤原, 佐々木, 平尾, 2015) または、藤原、佐々木、平尾 (2015) のように、全員の著者名を掲載し、再度引用するときは、藤原ら (2015) は、のように「ら」を付す。欧文の場合は、共著者が2名の場合は、Fujiwara & Sasaki (2015) または (Fujiwara & Sasaki, 2015) のように「&」を、3～5名の場合は、Fujiwara, Sasaki, and Hirao (2015) または、(Fujiwara, Sasaki, & Hirao, 2015) のように表記する。また再度引用するときは、筆頭著者のあとに et al. をつける。
 - (7) 6名以上の共著の場合は、初出、再引用に関わらず、筆頭著者のあとに「ら」(欧文の場合は et.al. をつける)。
 - (8) 著者が、団体や組織の場合には、(日本救急看護学会, 2016) のように、原典に記載されている名称を略さず表示する。
 - (9) 著者のない新聞記事やインターネット記事の場合は、「投稿規定 (2016, 8月24日). 日本救急看護学会 http://jaen.umin.ac.jp/journal/pdf/rule_contribution_121012.pdf」のように、タイトルを著者名(閲覧日を付記)として表示する。
 - (10) 書籍の一部を引用する場合は、(藤原, 2015, p.123) のように、該当する引用箇所のページ番号を掲載する。
 - 2) 文献リストは以下のように記載する。
 - (1) 文献リストに記載する文献は、出典ごとによら下げインデント (1行目は通常の開始位置、2行目以降は全角1文字の字下げ) で記載する。
 - (2) 文献リストは、筆頭著者姓のアルファベット順に並べる。同性の著者がいる場合は名を基準に並べる。
 - (3) 日本語の論文で、著者自身がローマ字表記をしているものは、その表記に従う。
 - (4) 同一著者による複数の文献は、出版年の昇順に並べる。
 - (5) 著者の日本語表記はフルネームで全員記載し、ピリオドで終える。但し、8名以上の共著の場合、最初

の6名までを列挙し、カンマに続けて省略記号（...）のあとに最終著者を入れる。

- (6) 学会誌名や書籍タイトルは、略誌名ではなく、正式名称を掲載する。
- (7) 著者が団体の場合は、原典に記載されている名称をフルネームで記載する。
- (8) 著者名のない出典の場合は、著者位置にタイトルを記載する。
- (9) 編集本の全体を引用した場合は、「編者名（編）．（出版年）．書籍名．発行元．」を記載する。
- (10) 編集本の章を引用した場合は、「章の著者名．（出版年）．章のタイトル．編者名（編）．書籍名（pp. 章の開始ページ-章の終了ページ）．発行元．」を記載する。
- (11) 翻訳本から引用した場合は、「原著者名．（原著出版年/翻訳書出版年）．翻訳者名（訳）．翻訳書名（pp. 開始ページ-終了ページ）．発行元．」を記載する。
- (12) 新聞やインターネットから引用した場合は、DOIを提示するか、日本救急看護学会（2016）投稿規定、http://jaen.umin.ac.jp/journal/pdf/rule_contribution_121012.pdf（2016.12.25 閲覧）のように記載する。

参考文献

- アメリカ心理学会（APA）．（2010/2011）．前田樹海，江藤裕之，田中建彦（訳）．（2011）．APA論文作成マニュアル（第2版）．医学書院．
- 前田樹海，江藤裕之．（2015）．APAに学ぶ 看護系論文執筆のルール．医学書院．

平成29年4月30日 発効